



五味 高明 議員

町議選の投票率が急落したが 投票率のアップにつながる努力をする

問 当町の選挙別投票率の推移は、グラフのように下落傾向にある。この傾向を選挙はどう捉えているか。

答 選管委員長 今の選挙の時々の選挙の争点や政治的背景の変化により投票率は大きく左右される。また近年は、特に政治や選挙に対する関心が大分低下していることに起因する。

問 今回の町議選で、前々回の投票率77.92%に比べ、17.70ポイントも急落し60.22%であった。この原因をどう分析しているか。

答 選管委員長 前回は無投票だったこと、これはといった争点もなく盛り上がり、関心も低かったと分析している。

答 選管委員長 啓発や広報等はこれまで通り行う。18歳有権者向けには、バスカードで選挙権を有した旨お知らせする。有権者に関心を持ってもらう意味で、情報公開と口頃の活発な議会活動が求められる。

問 基礎調査の結果はどうであったか。また、結果を踏まえた今後の事業展開は。

答 建設水道課長 平和台区、特に県営住宅用地における住宅整備は、需要が見込め20区画程度の整備が可能である。県と担当者レベルで具体的な協議を開始しており、今後、分譲販売等について計画的に進めたい。

平成28年度決算で「県営住宅用地等利活用基礎調査」の結果は

住宅用地として20区画の整備が可能

問 分析結果を踏まえ、今後どのような方策を考えているか。

答 選管委員長 18歳が29.80%であり、全年代で39.86%であった。

18歳選挙による若者への主権者教育は

中学校社会科の公民で学習している

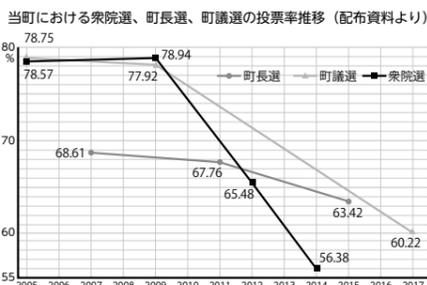
問 今回の町議選で18歳、19歳の投票率は。

問 町としてどう取り組みたいか。

答 教育長 中学校では、社会科の公民の中で「現代の民主主義と社会」という分野で、教科書45ページにわたって学習している。現在抱えている投票率の低下については、選挙での棄権の増加という課題に取り上げられている。

五選 田中 誠	五選 小野 浩二	五選 池田 健一	五選 市村 ちえ子	五選 仁科 英一	五選 岡元 三夫
五選 たかあき	五選 小野 浩二	五選 池田 健一	五選 市村 ちえ子	五選 仁科 英一	五選 岡元 三夫
投票日 9月10日(日)	荻原 浩	井田 理恵	徳重 正博	依田 俊一	
注意	池田 健一	依田 俊一			

16名の候補者



井田 理恵 議員

町議選について投票率の検証を 選挙公報の 新聞折り込み方法を検討

決算審査所見をまちづくりの指標に

真摯に受けとめ、改善に努める

問 町の将来フレームに決算審査所見をどう生かすか。

答 企画財政課長 財務会計上の問題は、統一改正案を示さなければならぬ。その他は実務レベルで同じミスを繰り返さないよう真摯に受けとめ、誠実に改善に努める。

問 土地開発・新宅地分譲に伴う道路拡張など投資事業と、既存インフラ改修のバランスは。

納得感得る予算組立てと配分へは、経営視点能力向上と議会との協働が必須では。

問 当町議会議員選挙の投票率は60.22%で前々回に比べ約17%下回った。

答 選管委員長 今後は新聞折り込み方法の指定やポスティングについて検討したい。

問 若い世代や住民自治・政治参加意識に繋がるよう努めていくべきだが総括は。

答 選管委員長 大過なく選挙事務は執行できたと考えている。

問 投票行動を促す作業は重要だ。選挙公報の折り込み方法

答 選管委員長 大過なく選挙事務は執行できたと考えている。



問 企画財政課長 総務課長 職員研修は、28年度35研修、述べ54日間受講者92名。内容を共有書庫に掲載したり、日々業務の中で専門性向上に今後も務める。

答 企画財政課長 今後は、昨年度末に策定の公共施設管理計画の個別管理計画作成にあたる。経営視点で利用状況など把握分析



一般会計・企業会計決算書